

# 令和5年度 水稻の生育情報 No.4

令和5年9月5日  
農業経営課

## 1 気象概況

7月と8月の気温は著しく高くなっています。

	<7月の平均気温>	<8月の平均気温>
岐阜市アメダス	28.8℃ (平年比+1.8℃)	29.6℃ (平年比+1.3℃)
恵那市アメダス	25.8℃ (平年比+1.2℃)	26.6℃ (平年比+1.0℃)
高山市アメダス	24.8℃ (平年比+1.3℃)	26.2℃ (平年比+1.8℃)

## 2 生育概況

表1－水稻の生育状況（岐阜県農業技術センター調 令和5年8月14日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生 育 概 況		
				令和5年	平 年	前 年
あきたこまち	5月11日	黄熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
コシヒカリ	5月11日	糊熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
ハツシモ岐阜SL	5月11日	穂ばらみ期	草丈 (cm)	97.1	98.3	93.9
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	365	284	249
			葉色 (GM)	34.9	36.9	39.9
			葉令	16.1	15.7	16.1
ほしじるし	6月9日	出穂期	草丈 (cm)	-	92.6	91.9
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	293	261
			葉色 (GM)	-	38.7	42.8
			葉令	-	13.9	15.0
ハツシモ岐阜SL	6月9日	節間伸長期	草丈 (cm)	81.1	84.0	91.3
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	325	321	270
			葉色 (GM)	39.2	36.4	41.9
			葉令	15.3	14.3	15.8

※あきたこまち、コシヒカリ、ほしじるしは出穂期を経過したため生育調査を実施していない。

表2－水稻の生育状況（岐阜県中山間農業研究所本所調 令和5年8月15日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生 育 概 況		
				令和5年	平 年	前 年
たかやまもち	5月16日	粉熟期 ～黄熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
あきたこまち	5月16日	粉熟期 ～黄熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
ひだほまれ	5月16日	粉熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
ひとめぼれ	5月16日	粉熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
コシヒカリ	5月16日	粉熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-

※各品種とも出穂期を経過したため、生育調査を実施していない。

表3－水稻の生育状況（岐阜県中山間農業研究所中津川支所調 令和5年8月15日時点）

品 種	田植時期	生育ステージ	項 目	生 育 概 況		
				令和5年	平 年	前 年
あきたこまち	5月15日	糊熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
ココノエモチ	5月15日	乳熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
ひとめぼれ	5月15日	乳熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-
コシヒカリ	5月15日	乳熟期	草丈 (cm)	-	-	-
			茎数 (本/m <sup>2</sup> )	-	-	-
			葉色 (GM)	-	-	-
			葉令	-	-	-

※各品種とも出穂期を経過したため、生育調査を実施していない。

### 3 栽培上の留意点

6月から8月の高温により、水稻の出穂は各品種とも平年並～早まっている。9月も高温が予想されているため、水管理やカメムシ防除、適期収穫を徹底し良質米に仕上げるよう努める。

#### (1) 水管理

水稻の登熟期は、「間断灌水」または田土が十分に水を含んだ「飽水管理」とし、収穫1週間前を目途に「落水」する。

##### ① 間断灌水・飽水管理

水田の状態を見ながら湛水状態と落水状態を繰り返すことで、空気と水を供給しながら根の活力を保つ。少なくとも、田土が乾かないよう十分に水分を含ませておく。登熟期の水分不足は、玄米の肥大を妨げ胴割を多発させるため注意する。

##### ② 落水

収穫1週間前を目安として落水し、水田の土を硬くする事で稲刈作業をしやすくする。落水後に田土が乾く様であれば、「走り水」を行い、水分補給する。

表4－水稻の水管理の目安

生育ステージ	水管理	摘要
登熟期	間断灌水	飽水状態でも良い
収穫前	落水	場合によっては走り水を実施

※飽水状態とは、田土が十分に水分を含んだ状態をいう

#### (2) 病虫害防除

また、梅雨明け以降の高温・少雨によりカメムシ類が増えており、8月4日付で岐阜県病虫害防除所より「斑点米カメムシ類の注意報」が県下全域で発令されている。

出穂期～傾穂期における防除を励行し斑点米や不稔籾の発生を回避する。

##### ①カメムシ類

梅雨明け後の気温上昇に伴い活動が活発化している。水稻の開花期から糊熟期に加害し、斑点米や不稔の原因となるため粒剤や液剤により出穂前後から傾穂期にかけて防除を行う。

なお、農薬の使用にあたっては使用基準を遵守すると共に近隣の住宅地や作物への飛散に注意する。



図1－イネカメムシ  
(体長 12～13 mm)



図2－ホソハリカメムシ  
(体長 9～11 mm)



図3－アカスジカスミカメ  
(体長 4.6～6mm)

写真：  
岐阜県病虫害防除所提供

#### (3) 適期収穫

適期に収穫した玄米にツヤがあり、整粒を多く含むため外観が美しい。早刈りすると青米が多く、籾水分も多いため乾燥作業に多くの時間と燃料が必要となる。逆に、遅刈りは

玄米にツヤがなく、胴割米が増えるため品質が低下する。収穫時期により品質が大きく異なるため適期収穫により、良質な玄米に仕上げたい。

特に、高温下では登熟期間が短くなるため刈遅れとなり易く、胴割米が多発する事が多いため注意する。

#### 【刈取時期の目安】

- ・ 帯緑籾割合が 10%前後
- ・ 籾水分 20～25%

積算温度だけでなく、稲穂の成熟具合や籾水分を見ながら収穫時期を決定する。なお、実際の作業にあたっては、収穫適期より早めに稲刈りを始め収穫適期に作業ピークが重なるよう日程調整を行う。

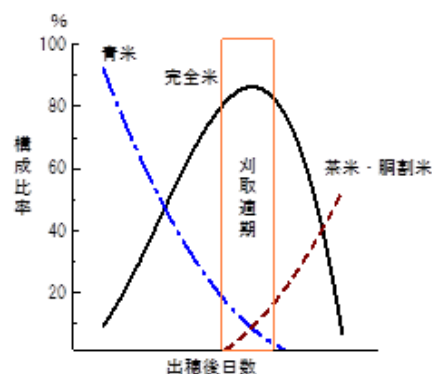


図4—適期収穫と玄米品質

#### (4) 次年度に向けた土づくり

稲わらの腐熟促進・地力維持・土壌改良を目的として、土づくり資材の投入と秋冬耕起を実施する。さらに家畜糞堆肥も施用すると地力向上が期待できる。

##### ①土づくり資材の投入

秋から冬の間、土づくり資材を施用し水田土壌にケイ酸やリン酸を補給する。特に水稻は「ケイ酸植物」とも言われ、多くのケイ酸分を必要とするため、積極的に投入するよう努める。

投入量は、土づくり資材の種類や土壌診断結果によるが10aあたり100kg以上を目安とする。

##### ②秋冬耕起

秋冬耕起は稲わらの腐熟を促すことで、翌春の代かき時に浮わらを減らすと共に田植後の水稻ガス害を回避する効果がある。それ以外にもクログワイ等多年生雑草の防除や害虫の越冬抑制にも有効であり、次年度の栽培環境を良好にするための作業とされている。

なお、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）対策の面からは厳冬期（1月下旬～2月上旬）に耕起して、土中の貝を地表面へ掘り出し凍死させる対策も推奨されている。

##### ③家畜糞堆肥の施用

近年は化学肥料の価格高騰に伴い、家畜糞堆肥の活用が見直されている。原料は牛糞・豚糞・鶏糞に大別されるが、それぞれの特徴が異なるため適切に使い分ける必要がある。

【牛糞堆肥】 施用量の目安：10aあたり 1～2t

分解と肥効が緩やかなため、土中に有機物が残り物理性の改善が期待できる。

【鶏糞堆肥】 施用量の目安：10aあたり 0.3～0.5t

分解と肥効が早く土中に有機物を残さないため、有機質肥料に位置付けられる。

【豚糞堆肥】 施用量の目安：10aあたり 0.5～1t

上記2者の中間的な性質を持っているが、物理性の改善より肥料効果の方が高い。

なお、家畜糞堆肥の使用に当たっては、水稻の生育に障害を及ぼさないよう完熟したものを選択する。